

(電子メール施行)
農技1319号
令和元年11月6日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和元年度病虫害発生予報第6号を發表します。

令和元年度病虫害発生予報 第6号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
トマト	灰色かび病	やや少	少
	アブラムシ類	平年並	やや少
	ハスモンヨトウ	やや少	少
	コナジラミ類	平年並	やや少
ハクサイ	黒斑病	平年並	やや少
	白斑病	平年並	やや少
	べと病	やや少	少
	軟腐病	やや少	少
冬キャベツ	黒腐病	やや少	少
	菌核病	やや少	少
ネギ	さび病	やや少	少
	黒斑病	平年並	平年並
	べと病	平年並	やや少
冬レタス	菌核病	やや少	少
	灰色かび病	やや少	少
	腐敗病	やや少	少
	ビッグベイン病	やや少	少
イチゴ	アブラムシ類	やや少	少
	ハダニ類	やや少	少
野菜共通	アブラムシ類	やや多	平年並
	食葉性チョウ目害虫	やや多	平年並

* 気象の概況

近畿地方 1か月予報

(11月2日から12月1日までの天候見通し)

令和元年10月31日

大阪管区气象台 発表

<特に注意を要する事項>

期間の前半は、気温の変動が大きいです。

<予想される向こう1か月の天候>

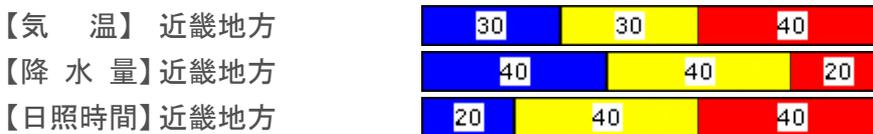
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の降水量は、平年並または少ない確率ともに40%です。日照時間は、平年並または多い確率ともに40%です。

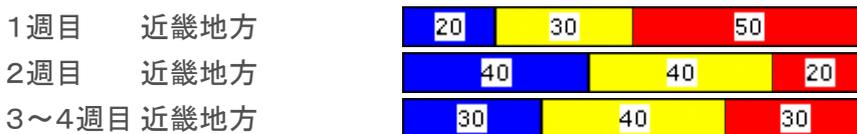
週別の気温は、1週目は、高い確率50%です。2週目は、平年並または低い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率 (%) >



凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

<予報の対象期間>

1か月	:	11月 2日(土) ~ 12月 1日(日)
1週目	:	11月 2日(土) ~ 11月 8日(金)
2週目	:	11月 9日(土) ~ 11月15日(金)
3~4週目	:	11月16日(土) ~ 11月29日(金)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

トマト

1 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場、9月下旬の現地調査ともに発病は確認されていない。

イ 今後の1か月予報によると、気温は期間の前半は変動が大きく、その後平年並になると予想されており、施設内は多湿条件となりやすく発病が助長され、今後はやや少ない発生で推移すると考えられる。

2 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の予察ほ場では発生していた(寄生株率2%)が、下旬には認められておらず、やや少ない状態であった。

イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめは高いと予想されており、増殖に好適な条件になることから、平年並の発生になると考えられる。

3 【ハスモンヨトウ】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場では発生は確認されていないが、フェロモントラップでは成虫の発生が認められている。

イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめは高く、その後平年並になると予想されており、今後しばらくは成虫の飛び込みと産卵のおそれがある。

4 【コナジラミ類】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 10月下旬の予察ほ場では、タバココナジラミの発生が認められ、寄生複葉率は3.3%(平年値18.0%)とやや少ない発生であった。

イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高く、その後平年並になると予想されており、増殖に好適な条件が続くことから、平年並の発生になると考えられる。

ハクサイ

1 【黒斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の現地ほ場では発生株率1.0%とやや少ない発生が確認された。

イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高く、降水量は平年並～少ないと予想されており、病勢の進展に好適な条件が続くことから、本病は平年並に発生すると予想される。

2 【白斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の現地ほ場では発生株率4.4%とやや少ない発生が確認された。
イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、病勢の進展に好適な条件が続くことから、本病は平年並に発生すると予想される。

3 【べと病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、やや少ない発生で推移すると予想される。

4 【軟腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高く、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

冬キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高く、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

2 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
(2) 予報の根拠

ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高く、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

ネギ

1 【さび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の予察ほ場、9月下旬の現地調査ともに発病は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

2 【黒斑病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の予察ほ場では発病株率21.8%(平年値20.9%)の発生が確認され、発病度は5.5(平年値8.4)であった。9月下旬の現地調査では発病は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、平年並の発生で推移すると考えられる。

3 【べと病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の予察ほ場では発病は確認されていない。現地調査では発病株率は1.5%(前年値4.3%)とやや少なかった。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、平年並の発生となると予想される。

冬レタス

1 【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

2 【灰色かび病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

3 【腐敗病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、本病はやや少ない発生で推移すると予想される。

4 【ビッグベイン病】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の現地ほ場では発病は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並、降水量は平年並～少ないと予想されており、やや少ない発生で推移すると予想される。

イチゴ

1 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の現地ほ場では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並と予想されており、今後しばらくは施設内へ侵入が続くことが考えられる。

2 【ハダニ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや少
- (2) 予報の根拠
- ア 10月上旬の現地ほ場では発生は確認されていない。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並と予想されており、施設内ではハダニ類に好適な高温・乾燥条件となりやすいことから、発生すると考えられる。

野菜共通

1 【アブラムシ類】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
- (2) 予報の根拠
- ア 10月下旬の調査ではダイコン、ハクサイ、キャベツ等の作物で広くアブラムシ類の発生が確認されている
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並と予想されており、今後もしばらくは増殖に好適な条件が続くと考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア ハクサイ、キャベツ、レタス等結球性の野菜類では結球内部で増殖しやすいため、結球するまでの防除が重要である。

- イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、同系統の薬剤の連用は避ける。
病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）
(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

2 【食葉性チョウ目害虫】

（ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ、オオタバコガ、コナガ等）

- (1) 予報の内容 発生量：**やや多**
- (2) 予報の根拠
- ア 県下3カ所に設置されているフェロモントラップにおいて、9月から10月3半旬までの誘殺数は、概ね平年並～やや多い状態で経過している。
- イ 今後の1か月予報によると、気温は期間のはじめ高くその後平年並と予想されており、成虫の産卵及び幼虫の加害活動に好適な条件が続き、作物への加害期間が長引くことが考えられる。
- (3) 防除上の留意点
- ア 中齢以降の幼虫には、薬剤による防除効果が低くなるので、早期発見に努め、若齢幼虫期の防除を徹底する。オオタバコガは結球性の野菜では、結球部に穿入する性質があるので、結球期を迎えるまでの防除が重要である。
- イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）等を参考にし、農薬使用基準を守ること。
病害虫・雑草防除指導指針（兵庫県農薬情報システム）
(<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

- * この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載
(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>)